

双日株式会社と東京家政大学の産学連携事業 「【玄海鷹島本まぐろ】レシピ開発教育プログラム」がスタート

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構ヒューマンライフ支援センターでは、「地域のニーズに学生の学びで応える」をモットーに、様々な産学官連携事業を展開しています。この度、双日株式会社との取り組みとして、「玄海鷹島本まぐろ」のブランディングと魅力発信を目的に、「【玄海鷹島本まぐろ】レシピ開発教育プログラム」がスタートしました。

■栄養学を学ぶ学生による「まぐろ」の魅力発信

双日株式会社の子会社 双日ツナファーム鷹島株式会社にて養殖されている「玄海鷹島本まぐろ」の美味しさや魅力を全国に発信すべく、食材や養殖環境、ブランディング等に関するグループワークを体験し、まぐろの新しい食べ方を提案します。

約6か月間に渡るプログラムの様子と学生が開発したレシピは、双日ツナファーム鷹島株式会社のSNS等にて発信される予定です。

■オンラインでの体験型教育プログラム

双日株式会社による「養殖ビジネスセミナー【玄海鷹島本まぐろ】」、全4回のグループワーク、レシピ中間報告会及び最終報告会を通して、レシピ開発だけでなく、ブランディングやマーケティング等についても学び、大学の学びを実社会で活用する力を育成します。また、本学オリジナルの教材により、社会人に求められる能力を知り、自己評価を通して自らの課題を見つけます。

新型コロナウイルスの影響により学生の課外活動に制限がありますが、オンライン等を活用した、時代に適応した形での取り組みを今後も実施する予定です。

お問合せ先

学校法人渡辺学園 東京家政大学

担当：ヒューマンライフ支援機構ヒューマンライフ支援センター

TEL：03-3961-5274, E-mail:hulip@tokyo-kasei.ac.jp

HP：<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/hulip/>